

## **あなたと未来を共創するイベント「docomo Open House'24」を開催 ～パートナーと共に創り出す、社会への新たな提供価値を提案～**

株式会社 NTT ドコモ（以下、ドコモ）は、ドコモグループがパートナーの皆さまと共創し実現したい、社会への将来像や提供価値を体感いただくイベント「docomo Open House'24」（以下、本イベント）を2024年1月17日（水）から1月18日（木）まで東京国際フォーラムで開催し、全31展示を出展します。また、1月17日（水）から2月29日（木）までオンライン上でも本イベントを開催します。なお、本イベント開催に先駆け、11月22日（水）15時から事前告知サイトを開設します。

<https://docomo-openhouse24.smtkg.jp/public/application/add/32>

本イベントは、ドコモの先進技術を活用して実現する、社会への新たな提供価値を体感いただき、パートナーの皆さまとともに社会実装につなげていくことをめざすものです。今年度は、より多くのパートナーの皆さまに実際のデモなどを体験いただけるよう、Web申し込みによるリアル会場への受付も実施します。リアル会場への参加申込方法は、事前告知サイトにて本日より公開しています。

今年度は、「ハテナって未来をよくするヒントだ。」をキーメッセージに、5G Evolution & 6Gに代表される通信技術をはじめ、コミュニケーション、都市デザイン、交通、生成AI、メタバース・XRといった6分野の31展示を予定しています。それぞれの技術を開発する起点となった開発者の志を表現した「問いパネル」も展示し、お客さま一人一人に寄り添った視点から技術と未来への可能性を提起します。



## ■開催概要

|        |   |
|--------|---|
| イベント名称 | 「docomo Open House'24」～共創プロジェクトを、ここからいっしょに～   |
| 会期     | リアル： 会期 2024年1月17日（水） 午前9時～午後6時<br>2024年1月18日（木） 午前9時～午後5時<br>会場 東京国際フォーラム ホールE1<br>オンライン：会期 2024年1月17日（水） 午前9時～<br>2024年2月29日（木） 午後5時  |
| 参加方法   | リアル： WEB申込制（先着順、参加無料、詳細は事前告知サイトにてご案内します。）<br>オンライン： <a href="https://docomo-openhouse24.smtkg.jp/public/application/add/32">https://docomo-openhouse24.smtkg.jp/public/application/add/32</a><br>（事前申込、登録は不要） |
| 主催     | 株式会社NTTドコモ  |

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

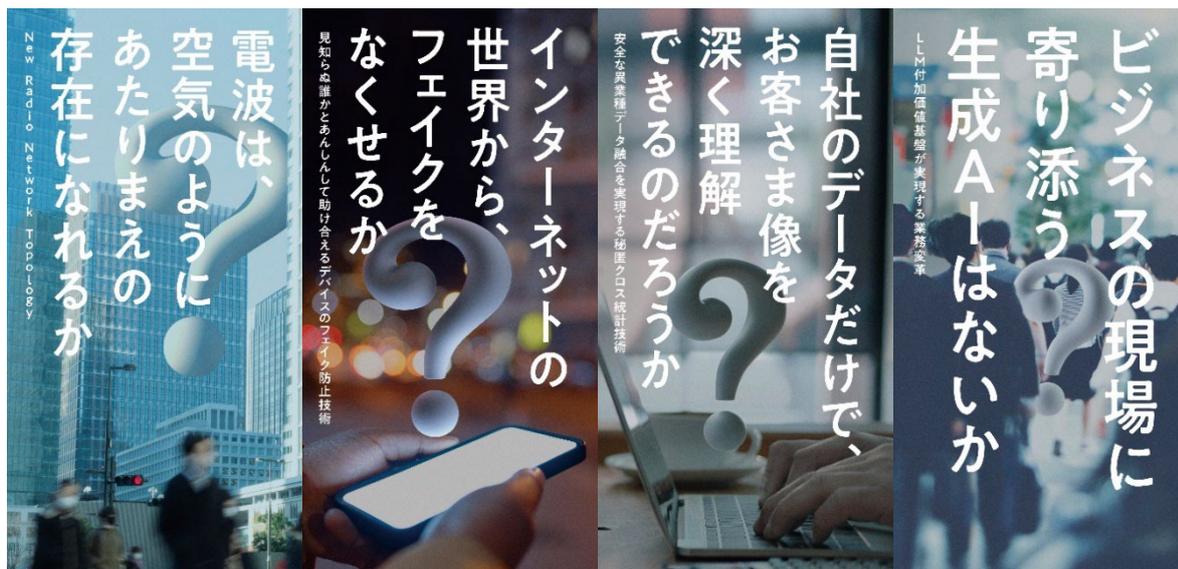
株式会社NTTドコモ  
R & D戦略部 技術広報担当  
[dcm-oph-info-ml@ml.nttdocomo.com](mailto:dcm-oph-info-ml@ml.nttdocomo.com)

## 1. 「docomo Open House'24」概要

本イベントは、ドコモグループが取り組む先進技術やプロジェクトから厳選した 31 展示<sup>※1</sup>を、5G Evolution & 6Gをはじめ、コミュニケーション、都市デザイン、交通、生成 AI、メタバース・XR の 6 つのカテゴリに分類しご案内します。例えば、コミュニケーションでは、動作・感覚・感情などを自然な形で共有する新たなコミュニケーションをめざす「人間拡張基盤」の最新技術を、生成 AI では、ドコモが持つビッグデータや AI 技術と生成 AI を掛け合わせることで、お客さま一人一人に最適化された安心・安全な AI サービスを体感いただけます。

## 2. 「問いパネル」

31 展示はすべて、それぞれの開発担当者が展示技術を開発する起点となった、世の中に対するふとした疑問を「問い」として記載した「問いパネル<sup>※2</sup>」とともに展示し、お客さま一人一人に寄り添った視点から技術と未来への可能性を提起します。「電波は、空気のようにあたりまえの存在になれるか?」「インターネットの世界からフェイクをなくせるか?」、「ビジネスの現場に寄り添う生成 AI はないか?」といった問いを通じて、パートナーとともに創り出していく未来像を展示します。



## 3. オンラインイベント

キーメッセージ「ハテナって未来をよくするヒントだ。」にあわせて 31 展示それぞれの「問いパネル」を入り口に、取り組みの詳細や今後の社会への提供価値を掲載します。また、31 展示の開発担当者がそれぞれの技術をわかりやすく説明する動画配信も予定しています。

※1 展示プログラムは変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※2 本問いパネルの内容は 2023 年 11 月現在のものです。